

2016年(平成28年)4月26日(火曜日)

増毛山道完全復元へ

6月から石狩側を整備

NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)の28年度通常総会が、23日午後1時半から増毛町総合交流促進施設元陣屋で開かれた。28年度は、石狩市の協力を得て同市側の山道約4・5キロを



NPO法人増毛山道の会の通常総会であいさつする伊達会長

整備して完全復元を実現する考えだ。増毛山道は、江戸時代末期に開削された増毛町別荘と石狩市浜益区幌を結ぶ全長32キロの山道。近年はササに埋もれて利用されていない

かったが、同法人と留萌振興局が22年度から整備に着手し、27年度に増毛町側の復元を完了している。

総会には、増毛町、留萌市、札幌市、旭川市などから委任状を含めて76人が出席した。伊達会長は「長年の夢であった増毛と石狩の幌を結ぶ山道が、こんなに早く再生されるとは思わなかった。ここまで来るまでには多くの皆さんのさまざまな協力があった。会員を代表してお礼を申し上げたい」とあいさつした。

来賓で石狩市の小鷹雅晴企画経済部長は「今年の石狩側の復元には、市職員、消防職員、有志が協力する」と述べた。

28年度は、6月から9月にかけて石狩市側の山道整備、草刈りを行い完全復元を目指す。山道体験トレッキングは、7月から10月まで7回実施する。11キロのミドルコース3回、16キロのフルコースで2回、21キロのアタック暑寒連峰望見コース1回に加えて、石狩市主催の「山の日」制定記念増毛山道「浜益御殿」再生記念トレッキングが、8月に初めて石狩市側の3・5キロのコースで行われる。

例年同様、増毛中学校の生徒を対象とした出前授業とトレッキングも実施する。

(原田学)